

2026年4月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	4月	
	売上高 ※1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※2
<b>あべのハルカス近鉄本店</b> (あべのハルカス近鉄本店 Hoop等を含む)	17.6 (5.9)	16.7
上本町店	5.4	7.6
東大阪店	2.1	2.8
奈良店	5.1	5.6
橿原店	3.3	3.6
生駒店	1.4	2.2
和歌山店	0.1	0.2
草津店	6.1	6.6
四日市店	1.6	2.1
合計	2.7	3.1
合計(既存店計)※3	4.7	6.0

(注) 数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じることがあります。また、消化仕入取引を総額に置き換える等調整をおこなっております。

※1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高。

※2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計した売上高。

※3 2026年2月28日に営業を終了した「名古屋店」の前年実績を控除した売上高。

【あべのハルカス近鉄本店の4月概況】

4月は、9階催会場で開催した大阪・関西万博開幕1周年記念イベントや「大北海道展」が奏功し、入店客数は対前年約10%増となりました。売上高についても、全部門において前年実績を大きく上回りました。特に食料品が好調で、29日の惣菜売場改装グランドオープン日には新規ショップの売上高が目標の2倍に達するなど、想定を上回る好調な滑り出しとなりました。

商品別では、婦人服において初夏物や薄手の羽織ものが好調に推移したほか、外商売上やインバウンド需要も引き続き堅調で、ラグジュアリーブランドを中心に伸ばしました。また、隣接する商業施設「Hoop」に3月末オープンしたアミューズメント施設「カプコミックス(国内初)」も好調で、Hoopの入店客数は対前年約19%増となり、新たな顧客層の獲得とエリア全体の集客力向上に繋がりました。